

会議録（グループホームよしだ運営推進会議）

作成日：令和7年1月24日

期 日	令和7年1月24日(金)	時 間	13:30~14:20
場 所	よしだ病院 会議室		
出席者 (6人)	利用者・家族	1名	
	地域住民代表	1名	
	糸魚川市職員	1名	
	その他関係者	1名	
	施設スタッフ	2名	

会議要旨

議題 (テーマ)	① 前回会議以後の活動内容・サービス提供の報告
	② ヒヤリハット報告
	③ 意見交換
	④ その他

管理者挨拶：本年もよろしくお願ひ致します。年始から降雪予報が度々出されていますが、今のところ予想を下回っており安堵している。介護施設としては、年末からの感染症の流行警報があり、気の抜けない時期となっている。

①前回会議（令和6年11月29日）後の活動内容・サービス提供の報告

○利用状況（1月24日現在）

- ・入居者数 8名、平均年齢84.4才、平均介護度2.1
要介護1 三名、要介護2 三名、要介護3 一名、要介護5 一名
- ・入居申し込み状況（入居待機者数）4名
- ・入退居
98歳女性：糸魚川総合病院入院の為退居。

○施設の動向

- ・感染症拡大防止策として食堂テーブル上に仕切りを設置中。
入居者様の調理作業への参加中止。但し、衣類たたみ等は実施中。
- ・玄関先でスクリーン越しの面会を実施している。
- ・限定的な外出として、職員又はご家族同行により専門医療機関の受診を実施。
- ・市内感染症流行に伴い、実施していた家族同伴の食事外出（法人内喫茶店に限る）を中止。

○行事報告・ちゃんまいろ紹介

- ・別添「ちゃんまいろ」284号、285号を確認いただいた。

②ヒヤリハット報告

- ・令和6年11月21日から令和7年1月20日分。ヒヤリハット件数5件。概要を報告した。
- ・2件は同一利用者の類似した内容。(写真にて居室状況を提示した)
- ・他1件は骨折の為、入院となった。糸魚川市へ事故報告書を提出済み。

③意見交換

地域包括職員：(同一入居者ヒヤリハットについて)居室状況の写真を見ると、ベッドのマットレス端が丸みを帯びている、マットレスの上に布団等敷いていないか。在宅ではマットレスの上に布団を敷いて滑りやすくなって転落となった事例もある。

施設スタッフ：マットレスにベットパッドとシーツのみの状態。

地域包括職員：居室内に椅子が多く設置されており、物がたくさんある印象。

施設スタッフ：歩行不安定な入居者だが、独歩にて居室内を歩き回る。窓際などにも行くため、つかまる場所を増やす目的でイスを設置している。

地域包括職員：衣類をかまわって転倒という事例がグループホームでは多い。全体から共通点を探り出して検証してみてもどうか。又、センサーは危険を知らせてくれる機器であって安全にすごせるという機器ではない。

又、対応する職員の心理的負担にもサポートをおねがいしたい。

地域住民代表：老人会の集まりでも、転んではいけないという話を話している。

老人の中にはボケるという言葉、認知症という言葉を嫌う方もいる。地域包括の職員さんにも、脳の活性化ということで協力してもらっている。

糸魚川市職員：他施設でも感染症が流行っている、基本的対策を行い、気をつけてもらいたい。

施設スタッフ：前回会議で、面会場所について玄関先でなく暖かい場所の検討をとあったがその後どうか。

施設スタッフ：面会場所の変更はないが、石油ファンヒーターを設置し暖かい環境でご面会できるようにした。

利用者家族：玄関先には色々物がたくさんある。もう少し整理したほうが良い。

地域包括職員：面会制限もある中で施設内に入れたい、本人と話しても正確な情報は得られないとなると、面会スペース等の雰囲気づくりも大事である。

利用者家族：今回、居室内の写真は初めてみた、年中行事等で何を食べているか、どんなことをしているか、家族としては楽しみにしている。

施設スタッフ：入居者毎に各部屋の紹介の写真を撮影してはどうか。ちゃんまいるについても楽しんでいる雰囲気がわかるものを掲載してはどうか。

地域包括職員：前回出席した職員から、地域リハビリ支援事業グループホームへの派遣についての回答を報告する。グループホームへはケアマネジャーを介した個別支援という形で利用可能。

次回運営推進会議は令和7年3月に開催の予定。

以上